

当報告の内容は、報告者の著作物です。  
Copyrighted materials of the authors.

「モンゴル諸語の言語変容：内的要因と外的要因」

(2020年度第1回(通算第5回)研究会)

Synchrony and Diachrony of Mongolic Languages: Internal and External Factors (The 5th meeting)

日時：2020年12月27日(日)

Date: 27th Dec. 2020

場所：Zoomによるオンライン開催

Venue: Online meeting via Zoom

Language: Japanese

通算第5回目の研究会となる今回は、以下の通り共同研究員2名より報告いただいた。

#### 1. 山田洋平 (AA 研共同研究員, 東京外国語大学)

「ダグール語の補助動詞とその周辺」

本発表ではダグール語の補助動詞構造とその周辺の言語表現について概観した上で、アスペクト・モダリティ表現が補助動詞によってどのように表されるか部分的に示した。

ダグール語で補助動詞として使用される動詞として *aa\_*「ある」、*bai\_*「立つ」、*gar\_*「出る」(以上、進行相を表す)、*tali\_*「置く」、*aw\_*「取る」(以上、完了相を表す)、*bar\_*「終わる」、*eurkee\_*、*ekil\_*「始める」、*dulee\_*「過ぎる」(「～したことがある」)、*ir\_*「来る」、*ič\_*「行く」、*yaw\_*「行く、歩く」、*šad\_*「できる」、*yad\_*「できない」、*bol\_*「なる」(「～していい」)、*ol\_*「得る」、*uj\_*「見る」、*uk\_*「与える」を取り上げ、この他に補助動詞的な表現としてコピュラ表現と引用動詞を伴う構造を扱った。

ダグール語の *-j+aa\_*「～している」という補助動詞構造は進行中の動作を表すが、モンゴル語の (-dAg による、ダグール語に対応形式のない) 習慣相が表す意味と一部重なる所がある。モンゴル語における類似の表現 (の過去形) は経験相を表すことがあるが、ダグール語では経験相を表すのに単なる過去形 *-sen* が用いたり、*dulee\_*「過ぎる」を用いた表現が用いられたり、*-sen aa\_* (結果継続) という表現が用いられたりする。

近い未来や願望の表現において引用動詞を用いた表現 *-bei el-j+aa\_* が用いられた。

その他のモダリティ表現についての調査では *bol\_*「なる」による「～してよい」という表現のほか、条件の帰結節で使用される *-gu aa\_* という表現が得られた。確信と義務を表すモダリティ表現では特別な形式が調査では得られなかった。

#### 2. ホリロ (AA 研共同研究員, 東京外国語大学)

「モンゴル語オラド方言の音韻について」

本発表では、モンゴル語オラド方言の音韻について調査資料をもとに音素目録を提示し、主な音韻特徴をまとめた。(1) 第一音節で \*e と \*i の合流が起こり、単一の音素 i になる。

(2) 前舌母音に i と ɪ の対立がある。(3) 円唇母音の合流が生じ、\*u と \*o が u として現れ

る。(4) 後続する音節の母音 \*i によって前舌化した母音音素  $\varepsilon, \alpha$  を持つ。(5) 第二音節に [ɬ], [ʧ], [ʃ] が現れる場合, 第一音節の母音は逆行同化しない。(6) 語末の \*n と \*ŋ が融合して ŋ として現れる。(7) 破裂音の摩擦音化が起こる。d > s (8) 破擦音の摩擦化が起こる。č > š (9) 「\*i の折れ」(a の前の場合): ① 語頭音節が ø-i の場合, \*a の前の \*i ><sub>ɪ</sub> / ja. ② 語頭音節が j-i, č-i, s-i の場合, \*a の前の \*i > a. ③ 語頭音節が b-i, n-i, g-i, k-i の場合, \*a の前の \*i ><sub>ɪ</sub>. ④ 語頭音節が m-i の場合, \*a の前の \*i ><sub>ɪ</sub> / a.

今回報告のあったダグール語, モンゴル語オラド方言の二つはいずれも記述が十分に進んでいない言語であり, とくに語族内での位置付けに関しても不明な点が多い。その点で両者の報告は今後の各自の研究の方向性を考えるうえでも, 有意義なものであったと考える。

なお, これまで同様発表資料については共同研究員のあいだで下記ウェブサイトにて共有することとした。(文責: 山越康裕, 発表要旨は発表者による。敬称略)

<https://sites.google.com/view/ilcaa-mongolic/>